

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル(科目名) 保育実習 I (施設)	授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 柳田 真理子	当該科目に関する実務経験 保育士
授業の回数	時間数 (単位数) 80 時間(2 単位)	配当学年・時期 2 年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施設の一日の流れを把握し、入所児童や入所者とコミュニケーションを図ることにより利用者の理解を深める。 • 施設の意義と今日的役割を理解する。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実習を通して利用者の生活を理解する。 • 実習を通して福祉施設の内容や機能を理解する。 • 実習を通して保育士・施設職員の役割と連携を理解する。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施設の概要を把握し、施設の実態を理解するとともに、利用者や施設の意義を学ぶ。 			
<p>[実習方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施設での生活に参加することにより、一日の流れを全体的に理解し、利用者の生活の観察、職員の業務の観察を通して支援の在り方を学ぶ。 <p>[実習段階の具体的な内容]</p> <p>① 見学・観察実習 施設での指示を仰ぎながら生活の観察を行う。一日の生活の流れ、生活内容の概要、対象児・者のおおまかな行動と展開、それにとまなう職員の対応を把握する。</p> <p>② 参加実習 担当職員の指示に従い、生活に参加する。対象児・者と共に遊び生活することで興味や関心、感情の動きを感じ、保育(養護)の援助を学ぶ。</p> <p>③ 責任実習(部分実習) 施設での指示を仰ぎながら可能であれば生活面の一部、あるいは遊びの一部など一日の流れの部分において、事前に支援案を作成し主体的に保育を実践する。</p> <p>[実習の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用者の生活を理解する。 • 日課に沿って保育士・施設職員の活動を多面的に理解する。 • 自ら準備した課題を保育の場で実践する。 • 保育士を志すものとして自覚を高める。 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> • これからの時代の保育者養成実習ガイド 学生・養成校・実習園が共に学び 中央法規出版 • 実習の手引き 適宜、プリント配布 			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 考查点(75%) <ul style="list-style-type: none"> • 到達目標の修得状況を測るために、実習評価の成績により期末考查を実施する。 • 平常点(25%) <ul style="list-style-type: none"> • 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 • 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			